

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人杉の子会

1 施設整備事業

○けま太陽の子保育園 厨房設備工事（リフォーム堀口）行いました。

1,461,845 円

2 寄附金

杉の子友の会より 500,000 円

太陽の子友の会より 500,000 円

けま友の会より 500,000 円

さんぽ友の会より 500,000 円

3 会議

理事会 5 回（内、決議の省略 1 回）

評議員会 1 回

監事会 1 回

4 契約

○藤田社会保険労務士事務所 業務委託契約（社保・労務）

○FCE トレーニングカンパニー オンライン研修システム契約

○fondesk（フォンデスク） 本部事務所電話受付代行契約

○保育園利用料を現金徴収から口座引き落としに変更

集金代行会社 大阪ガスファイナンスと契約

○フレームエイジ パソコン保守業務委託契約

その他

機関誌「ふたば」を6月に発行しました。

3.保育実践

- ・各クラスで年カ리를立てそれに基づいて月案・週案を立てています。
 - ・幼児と乳児の交流は1時期感染が落ち着いている際にはできましたが、年間通じるとあまりできませんでした。お誕生会も別々でしたが、誕生会担当保育士が、乳児の先生が幼児クラスの方に行くなど保育士は子どもたちに顔を見せ交流できるようにしていました。
 - ・食育のとりくみは、給食室と担当保育士が月1で出来る限り実施しました。
 - ・幼児クラスでは、運動会后2ヶ月。1日を通して、縦割りにする保育を取り組みました。同年齢だともめることが多くその対応に時間を費やしてしまっていて楽しくない状況あったのも縦割りにすることでもめ事もぐんと減り、ごっこ遊びの取組みをしたのを動画配信して保護者に見てもらうこともできました。運動会では恥ずかしさが強かった3歳児ものびのびと演じることを楽しんでいました。1月以降は年齢クラスの戻り、朝夕の自由遊び時間はまじりあって遊ぶ姿が増えました。「チーム幼児！」の感じが強くなったように思います。
 - ・ブログでの発信も意識し多くなり在園の方だけでなく見学者の方にも事前に保育内容を周知していただけることができました。
 - ・運動会は、予定日に2才児以上は杭瀬小学校グラウンドで、1家庭2名までの参加。DVD撮影をしました。0・1才児は、室内で普段の運動遊びを中心とした保育参観を3日間のうち1日参加という形を取りました。乳児のうんどう会の在り方を考える機会ともなりました。
 - ・プール遊びの姿は、ビデオ撮影したのを夕方に上映会しました。
 - ・年長は海合宿を実行しましたが、杉の子・食満と交流はしないで各園で1台のバスとお部屋も1室使用という取り組み方をしました。
 - ・雪遊びは、緊急事態宣言が出され実行できませんでした。
 - ・小学校との交流はできませんでした。
 - ・ワークショップの取組みは、5歳児5回・4歳児4回取り組みました。展示を玄関にしたことで多くの職員が展示の援助をする機会にもなりましたし乳児の保護者の方たちにも見ってもらうことができました。
- 道具の使い方・材料の違いなどナビゲーターの先生に講義・実地をしてもらう機会を設けてもらい学びになりました。
- ・「卒園と成長を祝う会」は、クラスごとの観覧(参加1家庭2名)にして予定日に実施しました。「ほかのクラスの観覧できず残念ですが、コロナ禍で実施してもらえ子どもの普段の先生やお友だちと遊んでいる様子を見ることができ良かったです。」「ゆとりがあってゆっくり見ることができました」という感想をいただき今後の課題(観覧の)が見えました。
 - ・グランドパママを招待出来なかったので、年賀状を書きました。

4. 地域・子育て支援

- ・夏まつりは、保育園ホールで基本保育園関係者のみのお祭りとししました。ちょうどコロナが落ち着いていた11月には他団体にも呼び掛けて「小田子どもフェスタ」を開催。久しぶりに公園での取組みができ、子どもたちはもちろんの事、大人たちが子どもたちのあそんでいるのを見守っている雰囲気やおしゃべりを楽しんでいる光景にほっこりしました。
- 3月には、フェスタを保育園本園の園庭で開催。春休みに入った日に実施したので金曜の夕方の取組みでしたが、卒園児さんたちも近所の方も来てくれました。
- ・保護者の方の実態をアンケートしました。(別紙1)
 - ・あそぼう会は、コロナ禍で立花の方からも来られていて近くの保育園につながりました。(別紙2)

5. 健康・保健・安全

	健診など	発症した感染症	
4月		RS感染症	
5月	歯科検診・小児科健診		
6月	眼科・耳鼻科健診・発達巡回相談	胃腸炎	
7月			
8月		咽頭炎・新型コロナ	ゴキブリ駆除
9月		突発疹・新型コロナ	
10月	発達巡回相談		
11月	小児科健診	手足口病・ヘルパンギーナ	
12月		嘔吐下痢・胃腸炎	
1月		アゼノウイルス・新型コロナ	
2月		新型コロナ	
3月		新型コロナ	

・法人内3園で交流してきました。コロナ対応については園長会などで、他園の経験をきくことや全国の経験を学び参考にしました。

・避難訓練は、防災・安全・健康委員会が計画的に年間計画に沿って実施しています。

福祉避難所についての学習も実施しました。普通救命講習の技能の維持のための訓練は、太田園長により実施してもらいほとんどの職員が受講出来ました。

6. 会議・研修

月1回の職員会議は、全体の意思統一の場になり、会議資料は、前日提出がほぼ実施されるようになり、事前に資料を読んで会議参加することで、クラスの様子は、認知されやすくなってきています。(事務時間も保障し合って取るようにしてきました。) リーダー会議(園長・主任・副主任)を細目に持ち、日常の各グループの状況確認や全体の課題の意思統一などを行い職員会議についても事前に内容をアナウンスすることで意見をもって参加する会議になりつつあります。午睡の保育が必要なため参加できない人もいて補完も含め各グループ会議やクラス会議を都度開催し意思統一を図りクラス以外の状況把握をできるようクラス保育に陥ることなく少なくとも乳児・幼児グループ内のことを認識できていることを大事にしてきました。クラス会議は、定例され進められてきています。午前勤務の職員との打ち合わせも大事にし12時から開催しています。

・法人内3園・1事業所で「研修等チーム」と位置づけ、「防災安全・健康」「給食」「障害児保育」「乳児保育」「幼児保育」「保護者支援」「企画」のチームを設けて取り組みを進めてきました。表情を見ながら会話ができると良かったのですが コロナ禍のためリモートでの会議がほとんどでした。移動の時間がなく慌ただしくなくて良かったという利点がありました。

法人内研修として、描画研修・障害児研修・わらべ歌研修・情勢学習を取り組みました。

・全国合研ZOOMで実施。多くの職員で全国の情勢・実践を学ぶことができました。

・保育セミナーは、ZOOM・兵庫の保育を考える集会は、現地とZOOMで実施。

・法人園会研修は、ZOOMで実施。

・キャリアアップ研修—各自で受講していきました。

7. その他

・より働きやすい職場づくりのため職員へのアンケートを実施しました。

・心の健康をサポートしてもらおう機会としてBIGSMILのカウンセリングを月1回3名受けています。

(別紙2-4)

乳幼児子育て応援事業実施状況(施設別)

保育施設名			杉の子保育園										
利用者負担金			①無 2. 内容により有			金額()円 ※1							
開設日			毎週(水)曜日・毎月(4)回			※2							
開設時間帯			10:00 ~ 11:30										
開催状況			体験活動事業内容 (該当番号を記載) ①子育て相談 ②親子遊び ③体験保育 ④保護者研修 ⑤読み聞かせ ⑥園庭開放 ⑦児童別室預かり ⑧その他()			開催状況			体験活動事業内容 (該当番号を記載) ①子育て相談 ②親子遊び ③体験保育 ④保護者研修 ⑤読み聞かせ ⑥園庭開放 ⑦児童別室預かり ⑧その他()				
回数	開催日		参加人数 ※3				回数	開催日		参加人数			
1	5月	12日	2	①③⑥園庭開放			25	9月	8日	2	③水遊び		
2	5月	19日	2	①②わらべうた遊び			26	9月	15日	2	①③⑥園庭開放		
3	5月	26日	2	①③園庭開放			27	9月	22日	2	②⑤感触あそび		
4	6月	2日	6	①②おもちゃ作り			28	9月	29日	18	②若駒さんとわらべうた遊び		
5	6月	9日	11	①③⑥園庭開放			29	10月	6日	2	①②うんどうあそび		
6	6月	16日	4	②⑤感触あそび			30	10月	13日	2	①②わらべうた遊び		
7	6月	23日	4	①誕生日会			31	11月	4日	7	②赤ちゃん劇場		
8	6月	30日	4	②七夕のかざり作り			32	11月	10日	4	①②おもちゃ作り		
9	7月	5日	2	③水遊び			33	11月	14日	13	②子どもフェスタ		
10	7月	6日	2	③水遊び			34	11月	17日	2	①③⑥園庭開放		
11	7月	7日	3	③水遊び			35	11月	24日	4	②紙あそび		
12	7月	8日	2	③水遊び			36	12月	1日	2	①②おもちゃ作り		
13	7月	12日	2	③水遊び			37	12月	8日	8	②⑤感触あそび		
14	7月	13日	2	③水遊び			38	12月	15日	6	②クリスマス飾りづくり		
15	7月	14日	3	③水遊び			39	12月	22日	4	①②体育あそび		
16	7月	15日	2	③水遊び			40	1月	5日	2	②ボールプール		
17	7月	16日	4	③水遊び			41	1月	12日	4	②⑤感触あそび		
18	7月	21日	2	③水遊び			42	1月	26日	2	①③⑥園庭開放		
19	7月	28日	6	②おもちゃライブラリー			43	2月	2日	2	①②お面作り		
20	8月	4日	9	②⑤感触あそび			44	2月	9日	3	②⑤感触あそび		
21	8月	18日	2	③水遊び			45	2月	16日	2	①③⑥園庭開放		
22	8月	25日	2	③水遊び			46	3月	2日	5	①②お雛様飾り作り		
23	9月	1日	2	③水遊び			47	3月	23日	2	①②おもちゃ作り		
24	9月	4日	9	①②夏まつり			48	3月	24日	4	①②移動動物園		
①小計(1~24回目)			89				②小計(25~48回目)			104			
						①+②合計(1~48回目)			193				

① 園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児合計	一時保育	延長保育	障害児保育
										補助対象
4月	5	12	13	16	15	14	75	4	98	4
5月	7	12	13	16	15	14	77	3	71	4
6月	7	12	13	16	15	14	77	8	97	4
7月	7	12	13	16	15	14	77	2	92	4
8月	8	13	14	16	15	14	80	5	81	4
9月	9	13	14	16	15	14	81	1	78	4
10月	9	13	14	16	15	14	81		79	4
11月	9	13	14	16	15	14	81		84	4
12月	9	13	14	16	15	14	81	6	83	4
1月	9	13	14	16	15	14	81	3	71	4
2月	9	13	14	16	15	14	81	4	67	4
3月	11	13	14	16	15	14	83		43	4
合計	99	152	164	192	180	168	955	36	944	48

② 職員数（3月末状況）

クラス	園児数	常勤	パート			
			7 h	4 h	3 h	1.5 h
0歳児	11	2	2			
1歳児	13	1	2			
2歳児	14	2		1		
3歳児	16	2				
4歳児	15	1	1			
5歳児	14	1		1		
給食室		1	1	1		
延長保育						1
用務					1	
事務				1		
主任		1				
園長		1				

③ 保育実践

リズム運動はコロナ感染が広がった時は実施を控えたり、椅子の並べ方の工夫をし、真冬も窓を全開にして取り組みました。

食育の取り組みを感染予防に注意しながらも続けていきました。クッキングや普段の日の和え物出張季節の行事に給食室も積極的に保育に関わりました。

コロナの感染者が出た場合を予想し、マスクを外す食事の時はテーブルの座り方を固定して、感染者が出て濃厚接触者をできるだけ出さないように工夫しました。またパーテーションは市販のものでは置いても結局濃厚接触になるので、行政に大きさや形状を訪ねて、手作りしました。

テーブルの間隔を1.5メートル開けるとマスクを外す給食の時間でも濃厚接触者にならないと行政から指導ありましたが、保育室の広さから到底無理でした。

オールあまっ子の年長交流は、近隣の園田保育所と今年は交流できました。事前の打ち合わせをする中で保育士同士が互いの保育の悩みを話せたり、実際に子ども達が対面するまでに手紙や動画を送り合ってコロナ禍ならではの工夫がされました。同じ小学校に行くお友だちを知り、小学校に期待をもつことができたようです。

たてわり保育について幼児グループで今一度、学習して実践しました。3～5歳児クラスで縦割りグループで活動をしたことで、特に問題を感じていた年長児の集団に変化が見られました。これまでは遊びが中心の縦割り保育でしたが、今後は生活場面も異年齢で過ごして関わり方が深まる内容にできないか話し合いました。また5歳児クラスの「赤ちゃん当番」もコロナ感染の様子を見て、できる範囲で取り組みました。年長児の姿を保育士集団で共有することで全体で見守り、子どもたちと担当保育士を支えることができました。

実践交流は研修委員会が進めて、3園で交流できました。自分の実践をまとめて文章化することで今まで意識していなかった子どもの思いや姿に気づき、実践報告の討論によって深めることができました。ケース会議を必要に応じて開き、集団で討議し、クラス保育に反映させていきました。

夕涼み会、海合宿はコロナ感染が落ち着いていたので、予定通り実施できました。海合宿は昨年と同様に3園でバスは別にし、同じ日程で行きました。以前のように交流はできませんでしたが、キャンプファイヤーは全員で楽しむことができました。

運動会はコロナ感染予防の為、2クラスずつの入れ替え制で1家庭2名の参加にし、園田小学校の小グラウンドを借りて開催しました。初めての会場でしたが、トラブルなく実施でき、子どもたちの姿を生で見てもらえました。保護者へのアンケートで出されていたDVD化を行いました。

「卒園と成長を祝う会」は1クラスごとに実施し、1家庭2名の参加にしました。ゆっくりみることができたり、短時間ですむという合理的な面はありますが、私たちが大切に、積み上げてきた保育の柱をどう保護者に伝えるのか、コロナ後のことを見通していく必要があると感じています。

④家庭・子育て支援

保護者の子育てと働く環境の実態を知り、多面的に捉えていく目的でアンケートに協力してもらいました。集計結果を職員会議でグループ討議をし、家事や子育てはやはり母親の負担が重いことや、子どもの病気で休暇が取り辛いこと、でも仕事にやりがいを持っていることなど、確認できました。

また、園への要望も記述されていたので、園だよりやコドモンを使って返答し実現できたものもありました。若い職員にとって、保護者の声を知る事は有意義で想像するだけとは違ったようでした。

コロナにより、参観やクラス懇談会が例年通りできないので、少しでも保育の様子が伝わればと、コドモンで園での様子を動画配信しました。1クラス5分程度の長さですが、保護者からは「楽しく見ました」と感想が寄せられました。保育士の負担にならない程度に取り組んでいきたいです。

ブログ更新や行事の際の玄関の掲示も職員が意識的に行っています。

ワークショップ後の作品展示も可能なものは、乳児クラスの保護者にも見てもらえるように1階に展示しました。親子で見て楽しむ姿がありました。

バザーやおまつりは感染予防から規模を縮小して、平日の夕方に主に保護者対象で開催しました。久しぶりでしたが保護者の協力もあり、お母さん同士で少しはお話でき楽し気でした。

地域保育 遊ぼう会は、月曜日と火曜日の週2回実施し、どちらも10組位の参加があります。ブログで予定をお知らせしています。曜日により、他の施設の子育て支援にも参加している方もおられます。地域調査をし結果を参考にあそぼう会のお知らせを配布すると、そちらからの参加がありました。アンケート調査も行いました。

保育園に見学に来られた方に、希望通りの施設に入れたのか、希望園を選んだ理由などの質問のアンケートはがきを送りました。予想以上の返信があり保育行政への要求や想いを知ることができました。(資料参考)

⑤ 健康保健安全

乳幼児健診一年2回 歯科健診 耳鼻科健診 眼科健診一年1回

身体測定一毎月 巡回発達相談一年3回

感染症については、掲示等で知らせています。特に新型コロナウイルス感染症は必要に応じてコドモンで配信しました。

マスク着用は夏場は避けましたが、オミクロン質問株の流行により3歳児クラスからは不織布マスクの着用をお願いしました。

1月以降は感染者が発生し、感染予防と施設の消毒のため、休園せざるをえなくなりました。

1月2日間 2月2日間 3月4日間

避難訓練は園内の防災安全委員が中心になって計画を立て、実施していくことが定着しています。防災食についても在庫確認を行って事務所に報告を入れています。今後必要になるものを提案するなど自覚的になっています。3園の委員会で交流しているのが参考になっています。

	健診	感染症
4月		溶連菌 ウイルス性胃腸炎
5月	歯科	ウイルス性胃腸炎
6月	耳鼻科眼科	RSウイルス 突発疹
	小児科	
7月		RSウイルス 下痢
8月		新型コロナウイルス感染症
9月		手足口病
10月	小児科	突発疹 手足口病 ヘルパンギーナ ウイルス性胃腸炎
11月		ウイルス性胃腸炎 突発疹
12月		溶連菌 ウイルス性胃腸炎
1月		ウイルス性胃腸炎 新型コロナウイルス感染症
2月		ウイルス性胃腸炎 新型コロナウイルス感染症
3月		ウイルス性胃腸炎 新型コロナウイルス感染症 水疱

⑥ 会議・研修

3園の研修委員会は、副主任が委員会の責任者となり、アドバイザーの園長や主任と打ち合わせをしたうえですすめていった。主にズームでの会議になり移動時間が短縮され、会議の運営にも慣れてきました。内容と状況によって対面での会議を入れるようにしました。

給食委員会は、栄養士が休職に入ったので、非常勤の調理師が内容により参加しました。他の園の様子を聞き意欲につなげていけました。

職員会議は平日13:30～15:00の時間を使って行いました。事前に書類を配布し目を通して参加するようにしています。内容については主任・副主任と会議を持ち相談するようにしましたができなかった月もあり反省です。

意見が出やすいよう議題によりグループ討議や、出てきた意見をホワイトボードに記入するなど共通理解がしやすい工夫をしました。

クラス会議は短時間パートの職員も参加する日を作り意思統一しました。後半は時間の設定を工夫してお昼の時間にダブルで会議を組み入れることができました。

3園の会議が一定整理されたのと、計画等書式を見直し、内容も簡潔にすることで事務量は少し軽減されました。事務時間は声を掛け合ってお互いに取り合っています。

(別紙2-4)

乳幼児子育て応援事業実施状況(施設別)

保育施設名		太陽の子保育園													
利用者負担金		1 無													
開設日		毎週(月及び木)曜日もあり・毎月(4~5)回 ※2													
開設時間帯		9:45~11:00													
開催状況				開催状況				開催状況							
回数	開催日		参加人数 ※3	体験活動事業内容 (該当番号を記載)				回数	開催日		参加人数	体験活動事業内容 (該当番号を記載)			
				①子育て相談 ②親子遊び ③体験保育 ④保護者研修 ⑤読み聞かせ ⑥園庭開放 ⑦児童別室預かり ⑧その他()								①子育て相談 ②親子遊び ③体験保育 ④保護者研修 ⑤読み聞かせ ⑥園庭開放 ⑦児童別室預かり ⑧その他()			
1	4月	5日	13	②⑤				25	9月	6日	12	②⑤⑧ワークショップ			
2	4月	12日	13	②⑤				26	9月	9日	6	②⑤			
3	4月	19日	10	②⑤				27	9月	13日	16	②⑤			
4	4月	26日	8	②⑤				28	9月	16日	9	②⑤			
5	5月	10日	8	①②⑤				29	9月	27日	8	②⑤			
6	5月	17日	10	②⑤				30	9月	30日	8	②⑤			
7	5月	24日	24	②⑤				31	10月	4日	12	②⑤			
8	5月	31日	9	②⑤				32	10月	7日	9	②⑤			
9	6月	7日	9	②⑤				33	10月	11日	13	②⑤			
10	6月	14日	11	②⑤				34	10月	14日	13	②⑤			
11	6月	21日	10	④⑤⑦				35	10月	18日	12	②⑤			
12	6月	24日	6	①②⑤				36	10月	25日	10	②⑤			
13	6月	28日	10	②⑤				37	11月	1日	8	②③⑤ワークショップ			
14	7月	5日	6	②⑤わらべうた遊び				38	11月	8日	9	④⑤⑦			
15	7月	12日	9	②⑤				39	11月	15日	65	⑧人形劇鑑賞会			
16	7月	19日	9	②⑤				40	11月	22日	4	②⑤			
17	7月	26日	12	②⑤				41	11月	29日	12	②⑤			
18	8月	2日	10	②⑤				42	12月	6日	11	②③⑤			
19	8月	5日	10	②⑤				43	12月	16日	58	⑤⑧星の集い太鼓鑑賞			
20	8月	19日	2	②⑤				44	12月	20日	11	②⑤			
21	8月	23日	10	②⑤				45	12月	27日	9	②⑤			
22	8月	26日	6	②⑤				46	1月	17日	10	①②⑤			
23	8月	31日	8	②⑤				47	3月	22日	5	②⑤			
24	9月	2日	3	②⑤				48	3月	28日	4	②⑤			
①小計(1~24回目)			226					②小計(25~48回目)			334				
								①+②合計(1~48回目)			560				

2021年 けま太陽の子保育園 事業報告

1. 児童数、一時保育利用者数、延長保育利用者数

	園児在籍数							一時保育	延長保育	
	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	合計		利用者数	延べ数
4月	5	10	15	15	12	11	64	0	5	20
5月	5	10	15	15	12	10	63	1	4	16
6月	5	10	15	15	12	10	63	0	8	26
7月	5	10	15	15	12	10	63	3	4	17
8月	5	10	15	15	12	10	63	2	8	12
9月	5	10	15	15	12	10	63	2	9	21
10月	5	10	15	15	12	10	63	5	7	18
11月	6	10	15	15	12	10	64	4	8	20
12月	6	10	15	15	12	10	65	4	9	24
1月	6	10	15	15	13	10	66	5	6	14
2月	6	10	15	15	13	10	66	1	3	11
3月	6	10	15	15	13	10	66	5	8	21
計								30	79	220

体制(3月末状況)

	園児数	常勤	非正規				
			7h	5h	4h	3.5h	派遣
0才児	6	2					1
1才児	10		3				
2才児	15	1	1		1		
3才児	15	1		1			
4才児	13	1			1		
5才児	10	1					
給食室		2			1		
延長					1		
補助				1	1	1	
園長		1					
主任		1					
事務							

1月より休職 1名

3. 保育実践

- ・昆虫館の学芸員の方に来て頂いて身近な自然での楽しみ方を職員も共に学び外遊びの広がりを経験することができた。
- ・運動会の取り組み方を昨年度の経験を踏まえて議論し、子ども主体の行事の在り方を実践。

4. 家庭との連携

- ・配信アプリを活用し、お便りなど従来、紙ベースで配布していたものに加えてデータ配信なども行う。
- ・コロナ禍での就業の在り方の変化や子育ての在り方などを把握し、職員学習に繋げるために在園児に向けてアンケート調査を行い、保護者の置かれている現状を職員全体で学び合う機会を設ける
- ・クラス懇談会がなかなか実現できなかったため、個人懇談に切り替え行いました。
- ・係活動など保護者を共に会議を行うものはリモートで行うなどを試みました。
- ・三者協議会は毎月行い、保護者会や友の会の運営などの相談を密に行いました。

5. 健康・保健・安全

	健診等	発生した感染症
4月		アデノウイルス
5月	小児科健診 巡回相談	
6月	眼科、耳鼻科、歯科健診	
7月		
8月		
9月	巡回相談	
10月	小児科健診	
11月		アデノウイルスウイルス
12月		新型コロナ感染症 アデノウイルス
1月		新型コロナ感染症
2月		新型コロナ感染症
3月	巡回相談	新型コロナ感染症

※心肺蘇生研修……心肺蘇生を法人職員全体に巡回で行う。その中で実践的なケースをシュミレーションし それぞれの園での状況に応じて、安全確認の学習しました。

6. 地域、子育て支援

・地域開放などの参加人数が減少し、ニーズの掘り起こしをおこなう。参加、在園児がどこの地域から来ているのかなどマップ化する。加えて人口動向を重ねてより効果的に宣伝を行う地域などを探る

7. 会議運営

対面での会議が行えない状況であってもオンラインを活用し法人内の会議を精力的に行いました
また、職員が長期にわたり自宅待機になった場合も園内の会議にリモートで参加できたりと新しい形の会議の在り方を得る事ができる。

職員会議 月1回 主任・副主任会議 月 2～3回 クラス会議月1回 フロア会議 適宜

法人専門員会会議 各部門 年6～7回

8. 職員研修

外部研修 兵保連・保育春セミナー13名 秋セミナー 7名 兵庫の保育を考える集会 14名
合同保育研究集会 14名 法人保育園会研修 14名

オンライン研修により受講の幅が広がる。
子育て世代の職員は家からの視聴が可能のため参加しやすかった。

内部研修 IPPO主催研修 14名 虹の会主催防災研修 8名
わらべうた研修 4名 障害児保育学習 4名

リモート併用しながらの研修も取り入れ 勤務時間内で保障するなど工夫しておこなう

5

9. その他 職員の労働環境の見直しなどを目的とした個々の保育以外の事務時間の在り方を探るため実態調査を行う。

(別紙2-4)

乳幼児子育て応援事業実施状況(施設別)

保育施設名		けま太陽の子保育園									
利用者負担金		1. 無		2. 内容により有		金額()円 ※1					
開設日		毎週(火)曜日・毎月(4~5)回						※2			
開設時間帯		10 : 00 ~ 11 : 30									
開催状況				開催状況				開催状況			
回数	開催日			参加人数 ※3	体験活動事業内容 (該当番号を記載) ①子育て相談 ②親子遊び ③体験保育 ④保護者研修 ⑤読み聞かせ ⑥園庭開放 ⑦児童別室預かり ⑧その他()	回数	開催日			参加人数	体験活動事業内容 (該当番号を記載) ①子育て相談 ②親子遊び ③体験保育 ④保護者研修 ⑤読み聞かせ ⑥園庭開放 ⑦児童別室預かり ⑧その他()
	月	日	曜日				月	日	曜日		
1	4月	6日	10	②	25	10月	5日	8	⑥		
2	4月	13日	12	⑧クッキング	26	10月	12日	23	⑧子育て相談		
3	4月	20日	6	⑧パルーンアート	27	10月	19日	23	⑧クッキング		
4	4月	27日	6	③	28	10月	26日	19	②		
5	5月	11日	8	③	29	11月	2日	18	②		
6	5月	18日	7	⑧おもちゃライブラリー	30	11月	9日	17	⑧クッキング		
7	5月	25日	9	⑧クッキング	31	11月	16日	17	②		
8	6月	1日	6	⑧カプラあそび	32	11月	30日	15	⑧秋祭り		
9	6月	8日	6	⑧クッキング	33	12月	7日	6	⑧人形劇		
10	6月	15日	6	③	34	12月	16日	20	⑧太鼓		
11	6月	22日	8	②	35	12月	26日	6	⑧クッキング		
12	6月	29日	6	②	36	1月	18日	8	②		
13	7月	9日	20	⑧夏祭り	37	1月	25日	6	⑥		
14	7月	13日	21	⑧クッキング	38	2月	1日	8	③		
15	7月	20日	18	②	39	2月	8日	16	⑧クッキング		
16	7月	29日	10	⑧体育あそび	40	2月	15日	14	②		
17	8月	3日	8	③	41	2月	22日	12	③		
18	8月	17日	8	①	42	3月	1日	14	②		
19	8月	24日	6	③	43	3月	8日	12	⑥		
20	8月	31日	8	③	44	3月	15日	16	⑧クッキング		
21	9月	2日	12	⑧ワークショップ	45	3月	22日	12	③		
22	9月	14日	6	⑥	46	3月	24日	12	⑥		
23	9月	21日	12	③	47	3月	25日	12	⑥		
24	9月	28日	14	②	48	3月	29日	12	⑧ワークショップ		
①小計(1~24回目)				233	②小計(25~48回目)				326		
					①+②合計(1~48回目)				559		

2021年度 さんぼ支援センター 事業報告

コロナの影響に左右された一年…どう乗り切っていくかが課題

2021年度は引き続きコロナでその時々動きが左右された一年でした。大きなパニック・クラスターはありませんでしたが、さんぼ支援センターの利用は主たる事業所のあとなどに利用するので、通所しているところでのコロナ発生がいろいろ影響してきます。利用者やヘルパーはその時々状況でこちらにきちんと報告をしてくれて対応していますので、大きく持ち込まれることはありませんでした。

移動支援や短期入所分野は昨年同様 2-3 割の落ち込みでしたが、後半、徐々に回復してきました。体制は安定しています。今後は慎重に、かつ積極的に事業を展開していくことが大切と思います。

1 実施事業について

*移動支援は 利用者が 26 名となり、昨年から 4 名利用が増えました。実績は自粛やキャンセルが発生して 2-3 割の減という内容です。

高齢の方の支援も入って、老人ホームとのかかわりも出て来ました。また、利用者がなかなか移動支援が使えない時期、混乱している様子も見られましたが、さんぼで過ごしてもらうなどして工夫してきました。

*居宅支援は 今年度は特に広がりはありませんでしたが、問題なく取り組みました。

*日中一時支援は コロナの時期でも定着しています。利用者がコロナにかかって控える日以外は定期的な運営で、月 6-7 日の利用です。

施設で過ごすことが重なってくるので、マスク着用や部屋を別にするなどの対応を利用者も受け入れてくれました。

*短期入所は 2021 年度は利用日は月 16 回ですが、急なニーズもあって、18 回ぐらいの対応をしています。一人利用も可ですが、連泊の場合は難しく、その都度利用者とも話し合っ、進めてきました。定員は 4 人が埋まるのが少し増えてきました。保安の方も男性・女性に分かれて確保できていますが、もう少し余裕を持たせるため泊り・保安とも人数を増やしたいと考えています。

2 人材育成と研修

コロナ対策での様々な書類処理の指示、さんぼとしてマニュアルなどの見直しを進めています。投葉の紛失や転倒などのアクシデントもありましたが、設備面や配置管理面での見直しをしてきました。ヘルパーの迅速な対応、報告体制が取られてよかったです。

個別支援での教訓や報告・相談は、全体で検討し、個々に支援者に返すように努力してきました。

きょうされんの研修・全障研・IPPO 学習会に参加してきました。

3 保護者対応

*個別面談はしませんでした。書類でのやり取りになりましたが、必要な場合は自発的に申し出ていただけたので、電話または面談での対応をしてきました。

年度途中の申し込みについては 最初に時間を取って面談をしました。

コロナが徐々にではありますが、落ち着いてきている様子です。通所事業所でのコロナ発生も保護者からいち早く知らせが入るので、対応が即できました。

*コロナの緊急事態宣言などの対応は、その都度お便りやメールで発行してきました。

4 運営の改善

さんぼ支援センター会議を月 2 回定例で実施してきました。全体を見わたしての運営のポイントを出し合い支援の充実と開拓が図るよう努力してきました。

ブログの活用については、今後ホームページの一新を進めていくので、それに合わせてアピールできるページを作っていました。ブログもさんぼだよりを必ず掲載するなど基本的なことを充実させていきました。

5 他事業所とのかかわり・運動のかかわり

利用者はいろんな事業所にかかわっています。ケアマネージャーがたてる利用計画相談にもとずいて不十分な部分を検討して充実したものになるよう配慮しています。

運動とのかかわりは きょうされん・兵障協・全障研があります。今年はパソコンでの会議や研修もあったのですが、定着してきています。


きょうされん署名は 350 筆集めました。

残念ながらきょうされんは今年度で脱退することとなりますが、必要な運動は協力していきたいと思えます。

各事業の利用者数・実績

移動支援	26人	居宅	6人	日中一時	6人	短期入所	18人			
利用者	男性	13	家事	1人	通院	2人	男性	4人	男性	12人
	女性	13	身体	3人	重度訪問	1	女性	2人	女性	6人
実績時間数	280時間		80時間		約6日間		16回	42人		
全利用者数	39人									
ヘルパー	13人		7人		3人		8人			

2021年の活動

毎月	コーディネート会議 支援センターだより発行	さんぽ職員会議 利用者だより発行	避難訓練
月	全体		利用者・保護者
4月	研修 兵庫の保育を考える集会 ヘルパー会議 書類監査提出		毎月 キッチン9あり 個別懇談 個別支援計画(前半) の説明 書面で対応する
5月	短期入所担当支援員会議 消防立ち入り検査 ゴキブリ駆除		
6月			
7月			さんぽフェスタ
8月	尼崎市短期入所ネット会議		ゲーム大会とクッキング
9月			
10月	ヘルパー会議		個別懇談後半 書面で対応する
11月	障害児保育実践発表		
12月			
1月	尼崎市短期入所会議		
2月			
3月	きょうされん署名集約		さんぽフェスタ 予約販売にて実施

